

平成30年度事業報告

渡良瀬遊水地アクリメーション振興財団は、渡良瀬遊水地及びその周辺地域において、良好な水辺空間の形成を図るための自然観察施設及び運動施設の整備・運営並びに環境保全のための活動、環境教育、調査研究等を行うことによって、環境保全とその利活用を推進することを目的としています。

平成30年度は、財団として従来から蓄積してきた知見・技術を活かして、渡良瀬遊水地における環境保全及び調査研究事業、谷中湖周辺の施設管理事業、運動施設事業を地域と連携・協力し実施しました。

1. 環境保全及び調査研究事業

①湿地植物の保全等の活動、環境教育及び遊水地への理解を深めるための活動

- ・渡良瀬遊水地の自然環境を活かした動植物・歴史等をテーマとした小学生を対象とした環境学習(10回)及び体験学習(22回)の支援を実施。また、自然環境への理解を深めるための動植物観察会(19回)、初心者写真教室(3回)などを実施しました。
- ・遊水地内及び湿地園での貴重植物の保全・育成管理に努めるとともに、一般の方への現地案内、貴重植物の学習などを実施しました。
- ・環境保全のための渡良瀬遊水地クリーン作戦、遊水地の魅力を発信するフォトコンテスト、自然環境保全のためのヨシ焼きなどを地域と連携し実施しました。

②渡良瀬遊水地の利活用・湿地植物保全等の調査研究及び広報

- ・貴重植物の保全・再生の検討、生育状況の調査研究、渡良瀬遊水地の利用に際しての調整(渡良瀬遊水地スポーツ利用者等連絡協議会)を実施しました。
- ・「体験活動センターわたらせ」、「湿地資料館」を活用し、渡良瀬遊水地の治水、利水、自然環境、利用等に関する情報提供、パネルの展示・案内、ビデオ等による広報を実施しました。

2. 施設管理事業

- ・安全に利活用できるよう谷中湖周辺施設の点検、維持管理を実施(施設の補修・復旧、清掃、出水時のトイレの撤去等)するとともに環境(貴重種)に配慮した谷中湖周辺の除草、植栽の剪定等の維持管理を実施しました。
- ・遊水地内の利用状況の把握、利用者指導及び谷中湖周辺の利用のための施設管理(ゲート管理、塵芥処理、トイレ清掃・点検等)を実施しました。

3. 運動施設事業

- ・渡良瀬カントリークラブの運営管理を行い、利用者の健康増進を図りました。